



平成26年度10月

我 の 声 を 聞 か せ よ

「町民の声」を町政に！

自由なご意見をお聞かせください。

- テーマ
- ① 人口減少の克服をめざして・・・P1～
 - ② 地域の防災強化を考えよう・・・P3～

主催：永平寺町議会

「人口減少の克服をめざして」

「急激な人口減少で全国の自治体のほぼ半数は2040年までに消滅する可能性がある。」民間研究機関が描き出したこの報告は、日本の将来像に波紋を広げています。国は人口減少に歯止めをかけ、活力ある社会を維持するための「まち・人・しごと創生法案」を作り地方創生に動き、県および市町では「人口減少対策推進本部」を立ち上げています。

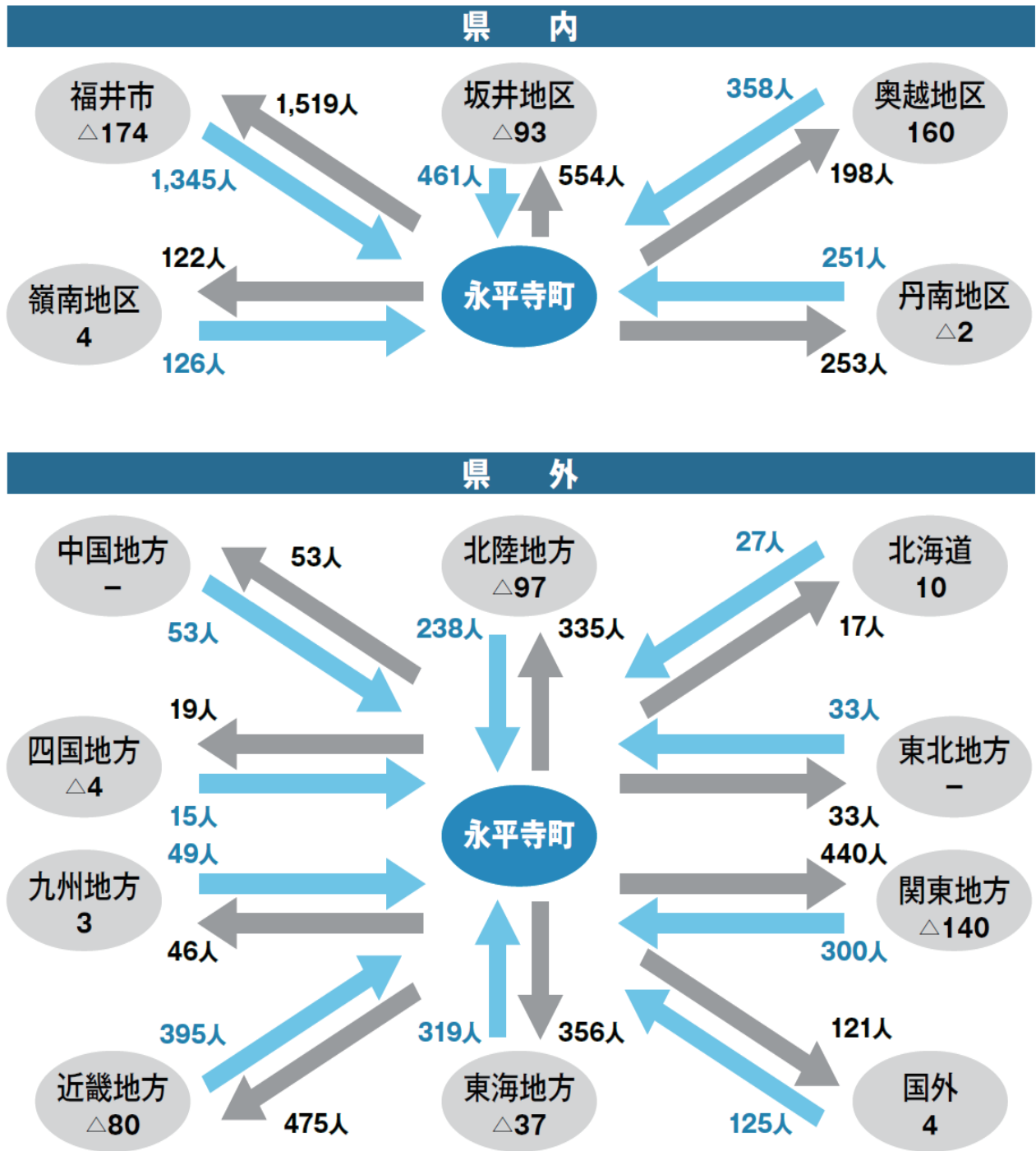
本町は、以前より子育て支援や若者定住支援を行い、人口減少を最小限に食い止めてはいるものの、人口減少は確実に進んでいます。表1は「地区別人口の推移」を合併の年から出したものです。どこの地区も減少しています。また図1は「人口移動の状況(平成18年度～25年度)」を表しています。

人口減少は様々な問題を引き起こします。学校の児童数の減少、空き家の増加、高齢者の介護問題、災害や犯罪への防衛等々。住民が自らの問題として受け止め、住民の知恵と行動で克服しなければなりません。

表1 地区別人口（平成26年4月1日現在）の推移

年度 地区別	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	比較(H18対H26)	
										人口	率
松岡中地区	6,471	6,494	6,422	6,387	6,372	6,351	6,352	6,330	6,347	-124	-1.92%
御陵地区	2,321	2,309	2,337	2,251	2,248	2,249	2,220	2,194	2,182	-139	-5.99%
吉野地区	1,704	1,708	1,679	1,710	1,700	1,720	1,703	1,704	1,688	-16	-0.94%
永平寺北地区	998	984	970	965	949	927	908	901	877	-121	-12.12%
永平寺中地区	3,574	3,536	3,541	3,517	3,469	3,459	3,429	3,386	3,344	-230	-6.44%
永平寺南地区	1,771	1,772	1,793	1,795	1,799	1,803	1,803	1,786	1,790	19	1.07%
上志比地区	3,538	3,512	3,486	3,466	3,423	3,375	3,338	3,262	3,211	-327	-9.24%
松岡地区	10,496	10,511	10,438	10,348	10,320	10,320	10,275	10,228	10,217	-279	-2.66%
永平寺地区	6,343	6,292	6,304	6,277	6,217	6,189	6,140	6,073	6,011	-332	-5.23%
上志比地区	3,538	3,512	3,486	3,466	3,423	3,375	3,338	3,262	3,211	-327	-9.24%
計	20,377	20,315	20,228	20,091	19,960	19,884	19,753	19,563	19,439	-938	-4.60%

図1 人口移動の状況（平成18年度～平成25年度）



「地域の防災強化を考えよう」

去る、8月20日に甚大な被害をもたらした広島市の同時多発土砂災害は、近年、多発する異常気象が原因となる典型的な災害でした。今回の災害はもはや「対岸の火事」ではなく、当永平寺町においても、いつ発生してもおかしくない状況となっています。

そこで、住民の皆さんが今思っていること・不安なことについて一緒に考えましょう。

① 本町での災害に対する対応は

【行政からの回答】

迅速な対応が不可欠で、災害種別により何処へ避難するか、また空振り覚悟での避難勧告・指示・準備を発令すること等を平時から住



民に説明、理解をしていただくことが重要である。また、防災無線、広報車での広報、ホームページ、ソーシャルネットワーク、ケーブルテレビ等の考え、今後訓練等を通じて行い、防災の運営に努めていきたい。また、ハード面については、2基の砂防堰堤を計画、河川事業についても、県事業として取り組んでいます。町においても、平成24年度より水害に強いまちづくり事業を積極的に着手しています。

(9月議会での回答)

② それで、住民の対応は？

もし、災害が発生したら

「自助・共助・公助」の手順で

自助：自分の家族、家は大丈夫か

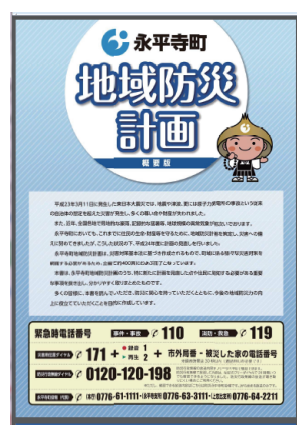
共助：ご近所・地区単位で助け合う

(自主防災組織：自主防災組織連絡協議会)

公助：役場・消防・警察・自衛隊等(公的機関)

そこで、住民の皆さんは、まず「自助」それから「共助」へと

町からの、防災計画、手引き、地震、洪水(浸水・土砂災害)ハザードマップ を参考にしましょう



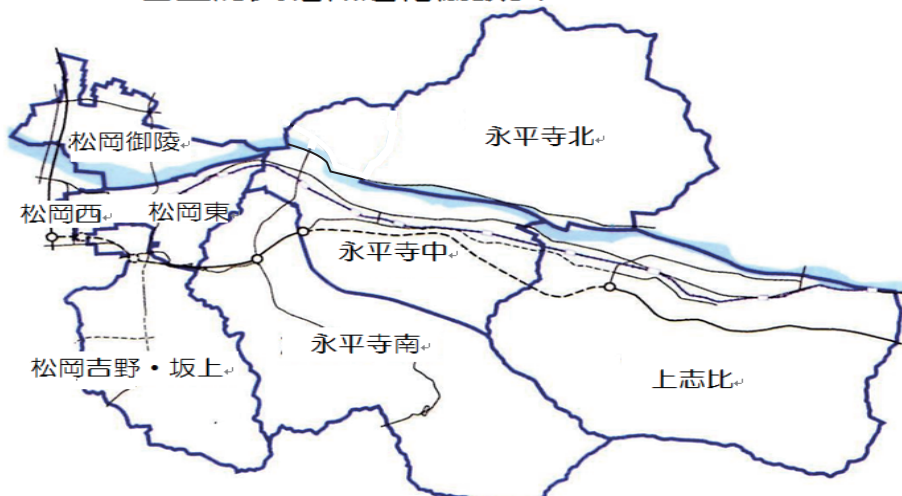
自主防災組織連絡協議会をご存知ですか

町内を8ブロックに区分し、平常時の地区の活動(自主防災組織)から地域での活動に広げ協力体制を構築することにより、災害時により効果的な連携強化が図られます。

また、行政機関との情報交換、連携も取りやすく、平時は勿論、災害時も迅速に活動が実施されます。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 上志比自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 17 組織) |
| 2. 永平寺北自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 8 組織) |
| 3. 永平寺中自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 9 組織) |
| 4. 永平寺南自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 10 組織) |
| 5. 松岡東自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 14 組織) |
| 6. 松岡西自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 10 組織) |
| 7. 松岡御陵自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 11 組織) |
| 8. 松岡吉野・坂上自主防災組織連絡協議会 | (自主防災組織 11 組織) |

自主防災組織連絡協議会



町の補助金をご存知ですか、また、活用されていますか

「自主防災組織等補助金」「自主防災組織連絡協議会補助金」比較表

補助金名	永平寺町自主防災組織等補助金	永平寺町自主防災組織連絡協議会補助金
補助事業者	各自主防災組織等	各地区自主防災連絡協議会
補助対象	① 活動費（自主防災訓練、啓発活動、災害時要援護者等地区住民の対応に必要な経費等） ② 避難用資機材（ヘルメット、避難所看板・誘導看板、誘導旗、非常用持出袋） ③ 救助・救護用資機材（メガホン、トランシーバー、懐中電灯、救助工具セット、チェーンソー、テント、発電機、投光器、大型救急箱、担架、リヤカー、ブルーシート、非常用毛布、簡易トイレセット、ポリタンク、コードリール、防災倉庫等）	①活動費（自主防災訓練、啓発活動、災害時要援護者等地区住民の対応に必要な経費等） ②可搬式動力ポンプ（C1クラス） 救助用具（発電機付投光器・温風機・炊き出し器・トランシーバー（中距離用） 救護用具（AED・給水タンク・水洗トイレ（テント付）・大型テント・車イス 資機材倉庫（コンテナ型） その他：町長が特に認めるもの
補助率	① 100% ② 80% ③ 50%	① 100% ② 50%
補助限度額	① 20,000円 ② 300,000円 ③ 300,000円	① 40,000円 ② 600,000円

③ そこで皆さんのご意見を ぜひ お聞かせ下さい

1. 皆さんの地域で危険箇所(土砂災害・浸水等)は、ありませんか？
2. 災害種別により、避難する場所は分かっていますか？
3. 行政へ聞きたいこと、お願いしたいことはないですか。
4. 自主防災組織・自主防災組織連絡協議会をご存知ですか。また、機能していますか。
5. 自分の備えは万全ですか。

など防災に関することなら何でも結構です。



永平寺町民指標

私たち永平寺町民は、美しい環境を守り、歴史と文化を大切にし、愛情に満ちた町を築きます。すべての町民が健康で安心して暮らせるふるさとを創ります。次の指標を私たちの合言葉とします。



笑顔であいさつを交わしましょう

えがお

か



慈しみの心を育てましょう

いつく



平和なくらしと自然を守りましょう

へいわ

しぜん



いつでも感謝の気持ちを持ちましょう

かんしゃ



自信と誇りを持ち活力ある町を築きましょう

じしん

ほこ

かつりよく

ぎず

町の花 梅

町の木 油桐

